

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム この葉作成日: 平成 31 年 2 月 17 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議の参加委員が固定化し、報告事項が主な内容になっている。参加委員を増員し、会議の内容を検討して、参加したくなる会議を目指していく。	複数の民生委員、市民センター館長、薬剤師、他事業所の管理者等に参加を要請し、情報交換しながら、ホームの運営や地域貢献に繋げることが出来るような会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	地域の行事や活動への参加や協力が、現時点では難しいので、人員配置を工夫したり、地域の協力を得ながら、少しずつ地域活動に参加していく。また、地域の人がホームに気軽に立ち寄れるような関係を築いていく。	小・中学校の職場体験、ボランティアの受け入れを行い、人の出入りの多い開かれたグループホームを目指していく。また、介護相談や地域の課題に取り組む等、ホームの持つノウハウを活かした地域貢献に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。